

2月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

昨年末までは、コロナの感染者数も減少したまま推移していたので、「2022年はちとせだより」にコロナウイルスのことは、あまり触れなくても済むのかなあ」と思っていたのも束の間、年始から第6波が襲来し、今もなお感染者数が拡大しております。幼稚園でも行政を通じて様々な対応が求められていると同時に、保護者の皆様にも同様にご理解ご協力いただくことが増えてきております。様々な対応だけでなく、身近に迫ってきたコロナウイルスに対しての不安や恐れもある中、このもどかしさ、どうしようもない気持ちをどう処理したら良いのか？と悩まれている方もたくさんおられるのではないのでしょうか。そのような状況にもかかわらず、電話等で保護者の皆様とお話をしていると、会話の最後に、「先生たちも大変ですね。」「心労察します。」「無理なさらないでください。」などの言葉をいただくことが多く、その言葉のありがたみをこういった状況だからこそ身に染みて感じることができております。本当にありがとうございます。

物や言葉、表情など人からもらう場面はたくさんありますが、本当に欲しい時にそのピンポイントのタイミングでもらえると、非常に価値の高いプレゼントになります。欲しいものがすべて満たされている時に、新たに高価な物をプレゼントされてもそれほど嬉しくはないでしょう。何気ない言葉のやりとりよりも本当に苦しんでいる時に、支えとなる言葉や表情は、どんな物より心に響くものとなります。よって、自分ではどうにもできない苦難や苦境、試練に立ち向かっている時こそ、人から得られる力の大きさに気づき、新たな希望や光を見出す力となり得るのではないかと思います。

今この目に見えないコロナウイルスを前にして、私たちの生活は大きく変容しています。当たり前が当たり前でなくなり、過去と比較して気持ちも滅入ることも多いですが、そういった時だからこそ、人とのつながりや支え合いが大切になっていきます。子どもたちの保育だけでなく、人として「なかまと心あわせて」この難局を乗り切って歩んでいきたいと思ひます。

【年主題】

『共に喜んで』～すべての歩みの中～

【年主題聖句】

一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、
一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。

(コリント信徒への手紙Ⅰ 12章26節)

2月主題 「なかまと 心あわせて」

聖句 「その家に入ったら、『平和があるように』と挨拶しなさい。」

(マタイによる福音書10章21節)